



人生の分岐点

『人生は選択だ』といわれる。
 誰の人生にも必ず訪れる、人生の分岐点。
 右に行こうか、左に行こうか、人生の三叉路に立ち、人は迷う。
進学・就職・結婚・転職
 人生において、この4つは大きく立ちはだかる。
 今、この問題に直面し、一時避難している人を世間は『引きこもり』と揶揄する。
 80年の人生で数年引きこもったっていいではないか。
 誰にも人生を選ぶ目は備わっている。
 ところが親は子供に、ああしろ・こうしろ、といらぬ世話を焼く。
 大半の引きこもりの原因は、親にある。
 わが子の幸せを願わぬ親はいない。
 だからややこしくなる。
 孔子が晩年に振り返って言った言葉がある。
『私は15歳で、学問を志し、30歳で学問の基礎が出来て自立でき40歳で、迷うことがなくなった。』
50歳で、天から与えられた使命を知り。
60歳で、人の言葉に素直に耳を傾けることが出来るようになり。
70歳で、思うままに生きても人の道から外れるようなことはなくなった。』



だから40歳までは、大いに迷ってよし・立ち止まってよし。

情報提供: 特別情報紙

建設業と吉本興業が協働 おかずクラブが「おうちクラブ」結成



国土交通省は8月17日、吉本興業グループのよしもとクリエイティブ・エンタテインメントに委託し、建設業の女性活躍を応援するためのキャンペーンを行うと発表した。
 2016年度の予算事業として実施するもの。
 具体的には、テレビなどで活躍している同グループの所属タレント「おかずクラブ」をメインキャラクターとして、建設業の魅力を発信するグループ「おうちクラブ」を結成し、建設業で活躍する女性の姿を取り上げる。全国各地でキャンペーンなどを実施していく。

建設業に対する認知度が低い女性や若者に関心を持ってもらうのがねらい。

情報提供: 日刊建設ニュース

住宅ローン借り換え効果、「100万円以上」6割 民間調べ

住宅ローンに関する情報を提供するMFS(東京・千代田)は住宅ローン利用者の6割が借り換えで100万円以上の支出削減効果が見込めるとの分析結果をまとめた。

日銀のマイナス金利政策で住宅ローン金利が低下しているため。
特に2000～10年に借りて現在の金利が1%以上の利用者のメリットが大きい。

調査は7月時点。同社が提供するスマートフォン(スマホ)向けアプリ「モゲチェック」の利用者1万2千人の入力データをもとに分析した。

借りている金融機関や残りの元本、金利などを入力すると、借り換えに伴う費用分を含むメリット額を表示する。それによると、利用者の6割に100万円以上のメリットがあり、300万円以上も3割を超えた。

メリットの大きさは金利と残った借入金の額で決まるため、ある程度金利が高く、額も大きい00～10年にローンを組んだ人でとくに効果が出やすくなる。

同社は1200万件にのぼる住宅ローンのうち半分の600万件で100万円を超える借り換え効果が出るとみている。

ただ実際に借り換えるのは年平均15万件で3%弱。

同社は煩雑な手続きや金利以外の条件の違いが見分けにくいことが借り換えをとどまらせる要因とみている。



情報提供: リフォーム産業新聞